



はじめに



この展示は去る10月23日(土)の日本女性会議第2分科会に於いて、第2部「ジェンダーとDV」の発表資料をもとに構成されました。コロナ禍で残念ながら本大会はオンライン開催となりましたが、女性への暴力をなくす運動週間にあわせその一部を発表し、誰も、被害者や加害者そして傍観者にならないために皆様と共有したいと思います。

本パネル展を実施するに当たりNPO法人エンパワメントアロッキー代表の望月理子さんには多大なご協力をいただきました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

甲府市男女共同参画推進委員会4班一同

目次

1. コロナ禍のDVの実情
2. 暴力のイメージ
3. ジェンダーと暴力のつながり
4. DV・デートDVを未然に防ぐための教育・啓発
5. DV支援等被害者支援の流れ

コロナ禍のDV実情

コロナ禍でジェンダー不平等が拡大

格差の拡大 → 女性に深刻な影響

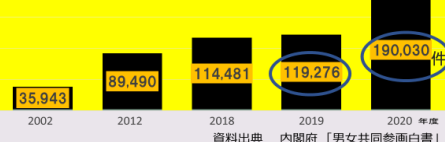
- 正規雇用労働者と非正規雇用労働者など労働者の間の格差を拡大
- 女性は飲食業・製造業・娯楽業・小売業の就業者数の減少幅が大きい

出典 内閣府「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書」(令和3年4月)

コロナ禍のDV実情

DV相談件数(配偶者暴力相談支援センター)

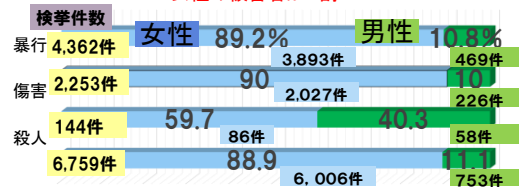
2020年度は前年度の1.6倍

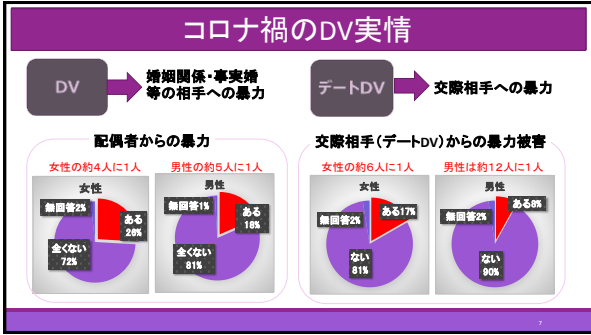


コロナ禍のDV実情

「配偶者間における暴力」の被害者の男女別割合

女性の被害者が9割

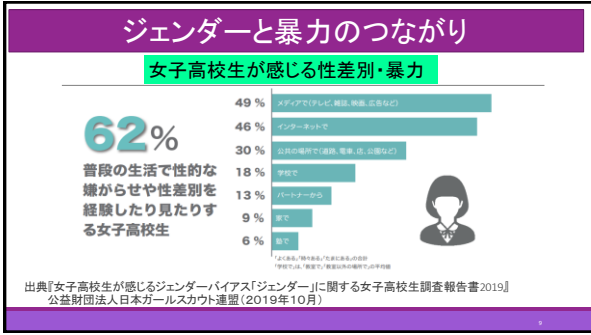




ジェンダーと暴力のつながり

- 暴力が容認される社会
- ジェンダー不平等な社会
- カップル単位の社会

出典『デートDV・ストーカー対策のネクストステージ被害者支援/加害者対応のコツとポイント』伊田広行 解放出版社2015年



ジェンダーと暴力のつながり

女子高校生が感じるメディアの性差別・暴力

- 番組でデートの場面が出てくるとき、リードするのは基本男性の俳優。女性はいつも受け身的な構成。
- 女性が襲われることを題材にするドラマや映画が多い。
- 女性が被害者の事件に対して、女性を非難する声、男性を擁護する声が上がります。
- 何か事件があった時「被害女性にも落ち度がある」という報道がされることがある。

出典『女子高校生が感じるジェンダーバイアス「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書2019』公益財団法人日本ガールスカウト連盟(2019年10月)

ジェンダーと暴力のつながり

ジェンダーと暴力の認知・許容

- ① 男の子は少しくらい乱暴でも構わないと思う。
- ② 暴力を振るわれる側にも問題があると思う。
- ③ 交際中は、最終的にリーダーシップを取るのは、男性の方だと思う。

出典『デートDV予防教育の必要性-効果測定調査報告と社会的コストについて』NPO法人デートDV防止全国ネットワーク 2021年5月

ジェンダーと暴力のつながり

日常生活で生まれる暴力 **暴力を容認する社会**

「男の子はわんぱくでもいい」
「男ならやり返してこい」
「イヤよイヤよも好きのうち」
「カンチョウ放置」問題

↑
暴力奨励の文化

暴力のイメージ

暴力=支配=人権侵害

安全・安心・自由を奪う

相手の主体性を奪う

自己決定・自信・成長

DVの暴力の種類

行動の制限(社会的隔離)

精神的暴力

身体的暴力

性的暴力

経済的暴力

暴力のイメージ

行動の制限(社会的隔離)

- 即レスしないと怒る・電話に出ないとキレる
- メールやアドレスをチェックし、削除する
- 他の異性と話をしないなど「ルール」を決める
- 交友関係を制限する・服装などに口出しする
- いつ・誰と・どこにいるか、常に報告させる
- 自分の予定に合わせるよう強要する
- 外部との接触を制限する

精神的暴力

- 人格を否定する・無視する・命令する
- 思い通りにならないと不機嫌になる
- 大切にしているものを捨てる
- 別れたら自殺すると言う・暴力の責任をなすりつける
- 家族に危害を加えると脅す・凶器を見せびらかす
- 子どものことで罪の意識を与える
- 暴力を何でもないことと言う

暴力のイメージ

身体的暴力

- どなる・叩く・殴る・蹴る・平手うちをする
- 髪の毛を引っ張る・モノにあたる
- 突き飛ばす・引きずりまわす
- 無理やりアルコールや薬物を飲ませる
- 首を絞める・刃物できりつける
- 床や壁にからだをおしつける
- 刃物などの凶器をからだに突きつける


性的暴力

- 同意のない性的行為をする
- 恋人や夫婦ならセックスに応じるべきと言う
- 避妊に協力しない・中絶を繰り返させる
- 同意がないのに性行為を撮影する
- 性行為の画像や写真をネットに拡散すると脅す
- 性的嗜好を押しつける
- 嫌がっているのにポルノを見る

暴力のイメージ

経済的暴力

- お金を取り上げる・借りたお金を返さない
- 働かせてお金をまきあげる・お金を借りさせる
- デートの費用をいつも出させる
- 収入に見合わない高いプレゼントを要求する
- 自分の経済力を使って言うことをきかせる
- 使い道をいちいち報告させる
- 仕事を制限する・一定の生活費しか渡さない



DV・デートDVを未然に防ぐための教育・啓発

性教育の必要性 「イエロー信号のはじまり」を見つける

(1) DV・デートDV被害にいたる構図 (見てきたように)

①「上下関係」をつくって、 ②「支配・被支配の関係」に陥らせる (地位としての上下) (リードする者される者)


(2) 被害が出る一歩手前で気づくこと …… <大切> (つまり) ①の時点で、②の前に 注意喚起すること …… <大切>

●この 注意喚起 の啓蒙・啓発こそ、推進委員さんの役割

DV・デートDVを未然に防ぐための教育・啓発

性教育の必要性 「国際セクシュアリティ教育ガイダンス 科学的根拠に基づいたアプローチ」 ユネスコ(ユニセフ・WHO等の共同)

ジェンダー平等を推進することは、若者の性の健康とウェルビーイング(幸福)にとって重要である



『国際セクシュアリティ教育ガイダンス科学的根拠に基づいたアプローチ』 明石書店 2020年

DV・デートDVを未然に防ぐための教育・啓発

性教育の必要性

国際セクシュアリティ教育ガイダンス

- 人間関係
- 価値観、人権、文化、セクシュアリティ教育
- ジェンダーの理解
- 暴力と安全確保
- 健康とウェルビーイング(幸福)のためのスキル
- 人間のからだと発達
- セクシュアリティと性的行動
- 性と生殖の関する健康

『国際セクシュアリティ教育ガイダンス科学的根拠に基づいたアプローチ』 明石書店 2020年

DV・デートDVを未然に防ぐための教育・啓発

性教育の必要性

ジェンダーの理解 知識・態度・スキル

トピック	6~8歳	9~12歳	12~15歳	15~18歳以上
ジェンダー規範の社会構築性	セックスとジェンダーの意味と違いを感知	ジェンダーアイデンティティの意味と尊重	恋愛関係におけるジェンダー役割への問題意識	自分と他者のジェンダーバイアスに對抗する重要性
ジェンダーステレオタイプ	ジェンダーの違いに関係なく	ジェンダー不平等の力の差は社会に存在することの認識	自分の価値がジェンダーバイアスに影響されていることの察知	ジェンダー不平等は性的行動、虐待や健康サービスへのアクセスに影響するリスクを高める
ジェンダーバイアス	ジェンダーに基づく暴力とは何かを知り、言葉で助けをどこに求めるかを知る	ジェンダーに基づく暴力は人権侵害であると認識	ジェンダーに基づく差別や暴力に立ち向かう方法を試す	親密なパートナーからの暴力を含め、性暴力は性的欲望ではなく力と支配による現象だと再認識する
ジェンダーに基づく暴力			親密なパートナーからの暴力を含め、性暴力は性的欲望ではなく力と支配による現象だと再認識する	親密なパートナーからの暴力の経験者へのサポートの存在を知り、人権侵害に反対を主張する責任をもつ

『国際セクシュアリティ教育ガイダンス科学的根拠に基づいたアプローチ』 明石書店 2020年

DV・デートDVを未然に防ぐための教育・啓発

性教育の必要性

デートDV予防授業の効果

授業前、授業後、一か月後における調査の結果、統計的有意差が確認できた

- ①暴力に対する認知が鋭くなる
- ②暴力を許さない意識が上がる
- ③ジェンダーバイアスを相対化できるようになる

(対象生徒: 全国中学2、3年生753人)

出典『デートDV予防教育の必要性～効果測定調査報告と社会的コストについて』
NPO法人デートDV防止全国ネットワーク(2021年6月)

DV・デートDVを未然に防ぐための教育・啓発

性教育の必要性

ジェンダーに敏感になること・暴力だと気づくことがDV防止に繋がる！！

↓

性教育はジェンダー平等めざす人権教育

